

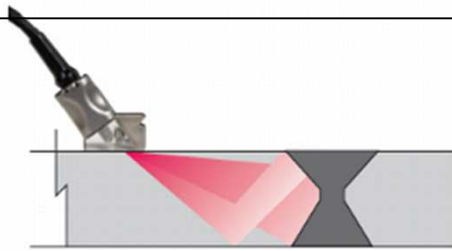
# フェイズドアレイ 超音波探傷器

OLYMPUS OMNISCAN



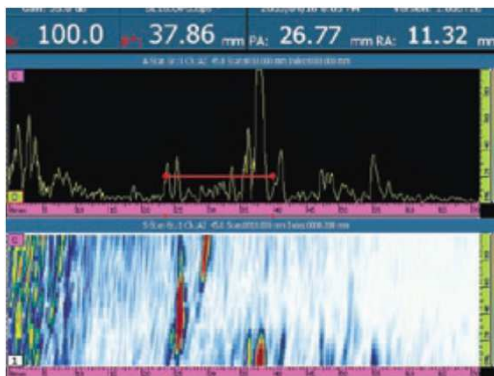
## 《フェイズドアレイ技術》

現在使用されている、超音波探傷検査技術の発展型です。一個のプローブ(探触子)に複数個の振動子(アレイ)を備えます。この複数個のアレイを電気特性により、制御し角度、焦点距離、焦点ポイントを設定し、超音波ビームを作成します。

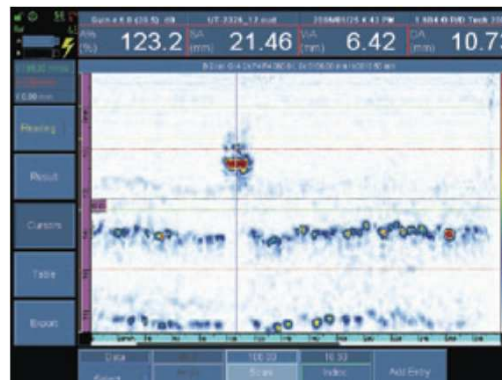


左図のように、プローブを動かさず、走査するビームの角度をすばやく変更し、優れた検出能力で欠陥を探傷できます。

## 優れた表示機能



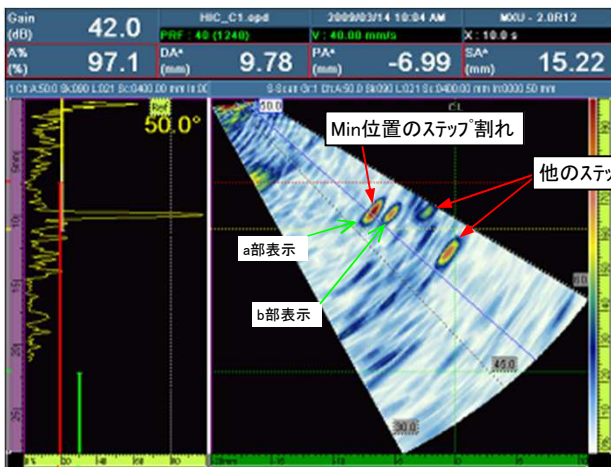
Aスコープ表示とCスコープ表示  
(波形表示) (平面表示)



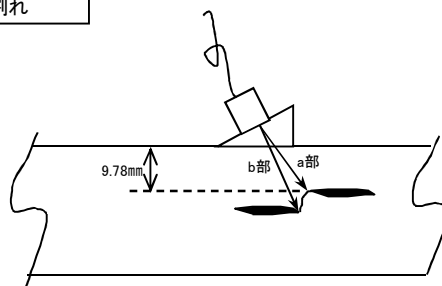
Bスコープ表示  
(断面表示)

《使用例》

・水素誘起割れ斜角探傷

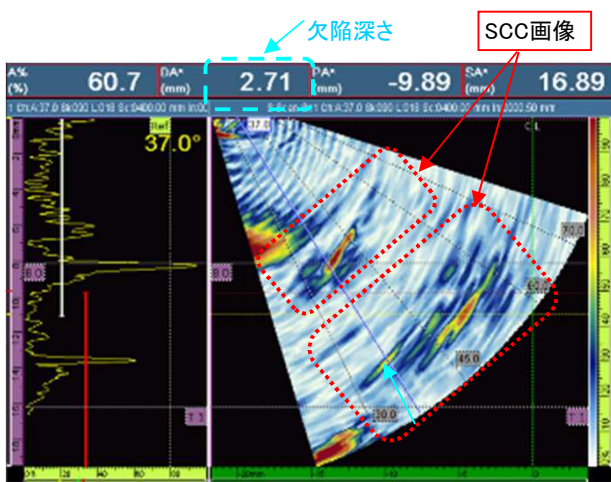


フェイスドアレイ画像(セクタスキャン表示)



探傷状況

・応力腐食割れ探傷

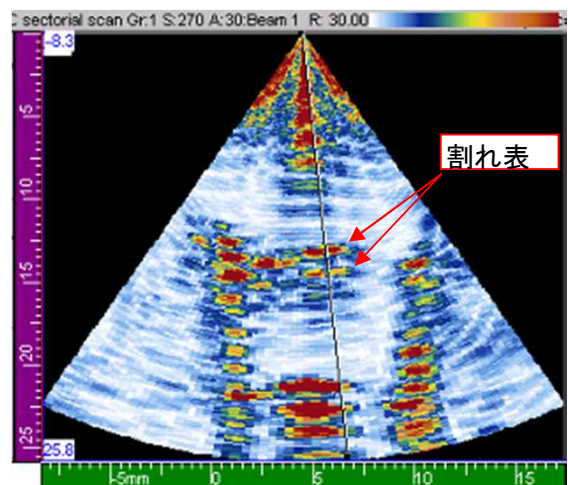


フェイスドアレイ画像(セクタスキャン表示)



探傷部状況 (PT検査)

・ボルトの割れ検査

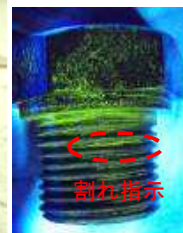


フェイスドアレイ画像 探傷部が実機に付属した状態で探傷可能です。

※テストピースによる探傷状況



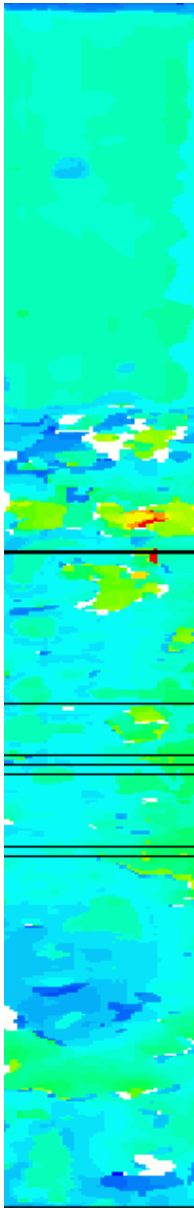
探傷状況



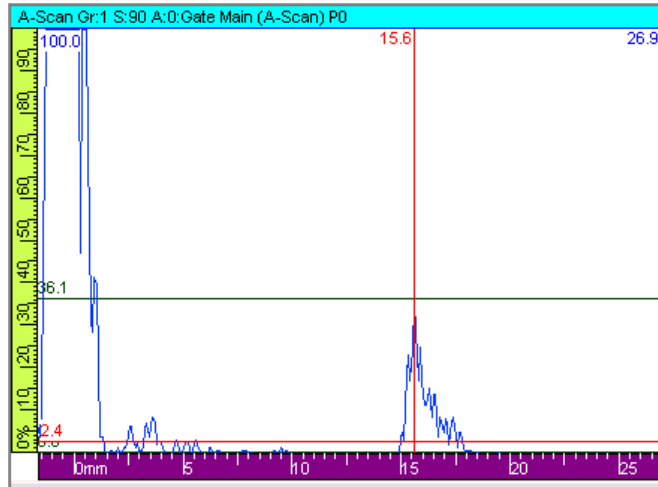
MT探傷状況

・タンク面探傷

Cスコープ(平面表示)

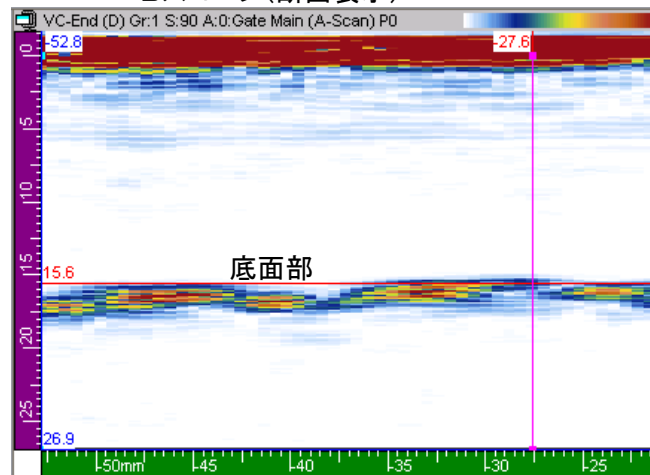


Aスコープ(波形表示)



内面側

Bスコープ(断面表示)



エンコーダーを使用することにより  
タンク底板の全面探傷が高速で探傷可能に  
なりました。

